



福山市立大成館中学校
大中だより

2022(令和4)年
9月1日
No. 4
校長 光成 秀博

2学期始業式 校長式辞



今日から2学期が始まります。この夏休みは新型コロナウイルス感染症の陽性者が福山市全体で1,000人を超える日も多くあり、心配なことが続く状況でした。2学期も1学期同様に感染予防を徹底し、生活していかなくてはなりません。状況によるマスクの着用、うがい・手洗い・換気の励行、給食時の黙食等今まで以上に気をつけて全員で感染リスクを下げる努力をしていきましょう。尚、9月には皆さんのアンケート結果から文化発表会行事が開催されることになりました。コロナ禍により内容を考えていかなくてはなりません、生徒会を中心とした生徒の皆さんと先生たちで「やり遂げた」「感動した」と思えるものを作っていきましょう。

話しは変わりますが、1学期終業式で私は「勉強する意味」についてクイズプレイヤーの伊沢拓司さんの話をしたと思います。それを元にもう少しこのことを考えてみたいと思います。社会科の歴史的分野の中で皆さんは日本の古代史を学んでいきます。一応の流れを学んだあと「日本の始まりはいつだと思えますか」という大きな問いについて考えていくようになったとします。この問いが皆さんの生活にどうかかわっているのでしょうか。皆さんはおそらく、今まで学んだことをもとにして考えます。それぞれの生徒が、日本に人が住み始めた石器時代だと考えたり、大和王権が成立した頃と考えたり、律令が制定された奈良時代と考えたりするでしょう。そして、その根拠を自分で考えたり調べたりして、それを表現し、友達の意見と比較しながら新たな考えを作っていきます。普段の生活に直接関係なさそうですが、実はそのような社会科の学びを通して考える力、調整する力、発表する力、自分の生きる力が付いてきます。日々の授業の中で日常的にそのようなことを繰り返して行く習慣ができている人と、最初からできないとあきらめて考えない、書かない、白紙で提出する人とは大きな違いが出てくるように私は思うのですがどうでしょう。少し厳しいことも言いましたが、2学期が始まると3年生にとってはよいよ進路決定の時期が迫ってきます。広島県公立高等学校入試において「15歳で身につけておいてもらいたい力」として「自己を認識し自分の人生を選択し表現することができる力」としています。大成館中学校の生徒は挨拶が素晴らしく礼儀正しくしっかりと人の話を聞くことができると私は思っています。その力に加え「試行錯誤しながらより深く分析、考察する力、つまり探求力」を今まで以上につけていく必要があります。授業や家庭学習の中で「じっくり考える習慣やしっかり表現する習慣」をつけてください。

この夏休み中、人の命が失われる残念な事も多くあり、報道されました。命の大切さは何にも代えがたいものです。また、夏休みが終わるころ毎年子供たちの自殺に関する報道がなされます。何回も話をさせてもらっていますが「生きていこうとする気力」も奪いかねない「いじめ」や「いじめに繋がる行動は絶対に許せないものであることも改めて自覚して欲しいと思います。LINE等でも、ちょっとした言葉から、大きなトラブルやいじめに繋がっていくことは皆さん分かっていると思います。いつも私は「最も大切なものは命である」と言い続けています。今、始業を迎えている皆さんが、この場においてくれることに私は感謝しています。皆さんも「今、生きている」こと、自分の命に感謝の気持ちを持って下さい。自分の「命」の大切さを感じながら、今後も自分の命、周りの人の命を大切にしようして下さい。

2学期は1年のうちで一番長い学期でいろいろな面でとても大切です。しっかりと主体性や意欲を持ってすべてのことに取り組んで下さい。そして、自分の持てる力をいかに発揮するとともに、集団の力を大きく発揮し、「人」としての力を向上させて下さい。皆さんの益々の大いなる成長に期待します。

2022(令和4)年9月1日
校長 光成 秀博

表彰結果

第56回中国中学校陸上競技選手権大会
1年男子1500m 第6位 森岡大歌(1-1)
第63回広島県吹奏楽コンクール 銀賞
第35回広島県東部地区中学校吹奏楽祭り 銀賞



中国大会出場にあたり、クラブ後援会が激励のために横断幕を作成していただきました。ありがとうございました。

